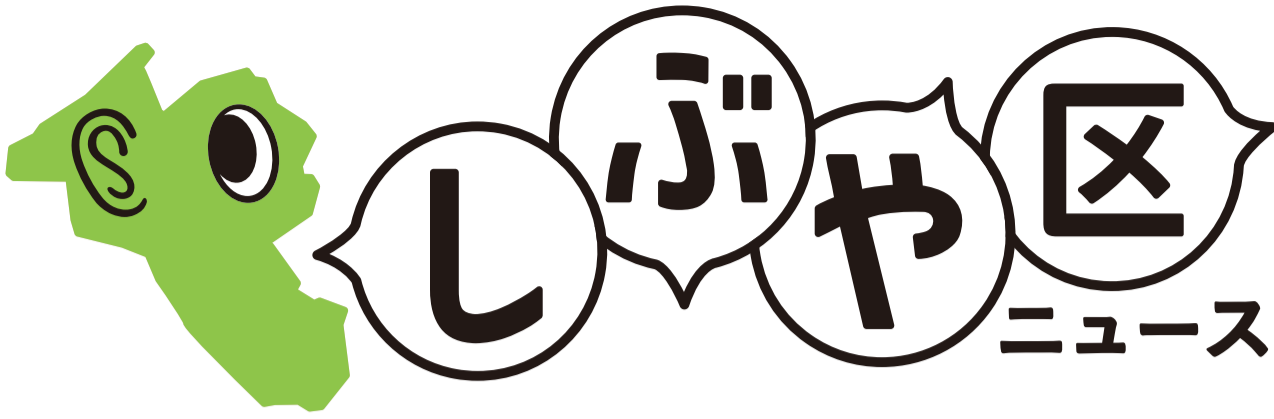


顔が見える。声が聞こえる。人をつなぐ。渋谷区からのお便りです。

令和3年
(2021年) 2月15日

No.1455



発行 | 渋谷区
編集 | 広報コミュニケーション課
所在地 | 〒150-8010 宇田川町1-1
電話 | 03-3463-1211 (代表)
HP | www.city.shibuya.tokyo.jp/
Twitter | @city_shibuya
Facebook | @shibuya.city
Instagram | @city_shibuya_official
LINE | @shibuyacity



「景丘の家」のスタッフの皆さん

世代を超えて交わる、地域の居場所。
「みんなの家」は恵比寿にある。

2	「こどもと食」を中心に、	4	新型コロナウイルス感染症	7	渋谷区の	12	くらしの情報
3	あらゆる世代が集う居場所づくりを。	6	濃厚接触者への対応フロー ほか	11	ICT教育特集 ほか	15	

渋谷区基本構想が掲げる渋谷区の未来像「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」

「こどもと食」を中心に、あらゆる世代が集う居場所づくりを。

渋谷のラジオで
出張インタビュー

赤ちゃんからおじいちゃん・おばあちゃんまで、あらゆる世代の交流を促し、地域のつながりをつくる施設「景丘の家」の皆さんに話を伺いました。



おみきさこ
館長 尾見紀佐子さん

都心では失われがちな
“地域のつながり”を
つくっていきたく
思っています。



にいぼりけいこ
副館長 新堀桂子さん

どの世代の方も
幅広くご利用いただける
“みんなの家”として
運営しています。



ますだはるな
増田晴菜さん

音楽や芸術を通じた
教育の機会も
提供しています。

子どもから学生、親世代、シニア世代まで、あらゆる世代が交わる場所

景丘の家とは、どんな施設なのでしょう？

尾見：景丘の家は「渋谷区こどもテーブル」*の中心的な拠点として、「こどもと食」をテーマに平成31年3月にオープンしました。地下2階、地上3階建てで、いろりやかまど、土間、縁側のある「サロン」や乳幼児のための「おやこフロア」、小中学生・高校生たちが体を動かしたり、交流を楽しめたりする「プレイフロア」など、さまざまな遊び場、居場所を用意しています。月に1回、子どもたちと食事作りを楽しむ「こども食堂」*の他、ものづくりのワークショップや予約不要で参加できるフリープログラムなどの活動も行なっています。

* 渋谷区こどもテーブル：地域の住民や団体、民間企業が子どもたちの食事や学習支援、遊びなどを支え、そうした居場所を提供するプロジェクト。

恵比寿駅から徒歩5分という好立地にありますが、もともとこの場所は個人宅だったそうですね。

尾見：故郡司ひさゑさんから平成10年に渋谷区社会福祉協議会(以下、社協)へ寄贈いただいた邸宅が元になっています。建て替え前は地域の福祉活動などに活用されていましたが、「子どもたちのために活用してほしい」という郡司さんの遺志を継承し、居場所(遊び場)の他、スタジオやキッチンを完備した施設として社協が建て替え、現在の景丘の家となりました。

新堀：スタジオやキッチンは区民の方への貸し出しも行なっています。利用者は子どもに限定せず、赤ちゃんからおじいちゃん・おばあちゃんまで、どの世代の方も幅広くご利用いただける“みんなの家”として運営しています。

増田：週末のアートスクールにも力を入れており、2月は年に1度のスペシャル月間として、施設全体でさまざまなプログラムを行なっています。展示やアーティストによるワークショップなど、音楽や芸術を通じた教育の機会も大切にしています。また、私は鍼灸師の資格を持っているのですが、家族と一緒にできる「からだケア」を行うなど、スタッフの特技を生かした取り組みも行なっています。

利用者を子どもとご家族に限定していない理由は何でしょうか？

尾見：景丘の家では、世代を超えて人が集まる居場所と機会を提供することで、都心で失われがちな“地域のつながり”をつくっていきたく思っています。間口を広くしたことで、シニア世代の方が孫世代の子どもたちと一緒に卓球やカードゲームを楽しんだり、一緒に英会話や数独の教室に参加されたりといったことが日常になりつつあります。中高生や大学生の利用者が餅つき大会のお手伝いに来てくれたことも。昔の地域社会にあったような光景が、生まれてきていることがとてもうれしいです。

家庭だけでは難しい「食育」の機会を提供する

そうした多岐にわたる活動の中心に、「食」というテーマを置くことにどのような意味があるのですか？

尾見：「食」は人と人をつなぐ大きな受け皿になります。渋谷区の親御さんは仕事が忙しい方も多く、晚ご飯を子どもたちだけで食べるご家庭もあります。たとえば景丘の家では、遊んでいておなかがすいたら、子どもたちと一緒にご飯を炊き、おにぎりを作ってみるなど食べる、といったことも行なってきました。また、いろいろな世代の人たちが、いろりを囲んで集まり「食」を中心に活動することで、地域に子どもたちの居場所をつくり、「食」を通じた心の交流を目指しています。

新堀：これには「食」を通じた教育(食育)という側面もあります。たとえば、最近ではスーパーで売っている切り身でしか魚を見たことがないという子どもたちがいます。親御さんも食育が大切だと理解はしていますが、教えてくれる場所や機会がないことが悩みとなっていました。そもそも、親御さんも魚をさばいたことがなかったりするんですね。そのため、「食」にまつわるワークショップはいつも大人気です。

増田：ワークショップに板前さんをお呼びして、アジの三枚おろしを実演・指導していただいたこともありました。親御さんもやったことのない方が多く、子どもたちだけでなく、お父さんお母さんも喜んでいました。

尾見：ご家族同士の交流にもなりますし、命をいただくことを語らずとも感じてもらえる機会にもなるので、ワークショップの後は、皆さんいい顔をして帰られています。

地域との交流で言えば、景丘の家は「恵比寿文化祭」の会場にもなっていますね。

尾見：子どもたちと一緒にメニューなどの企画を考え、実施した「いろりカフェ」では、みんなすごく楽しそうに張り切ってくれました。どうしても今の子どもたちはゲーム機で遊ぶことに夢になってしまうので、こうした参加したくなる仕組みをもっと作っていきたくです。景丘の家に行くと、学校以外の友達にも会えるし、何か楽しいことがある。さまざまなプログラムを行なっているのは、教育としての側面だけでなく、いろいろなことに興味を持つきっかけにしてもらいたいからでもあります。

自宅にこもりがちな状況だからこそ、心のよりどころに

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、そうした活動を制限せざるを得なくなりました。特に「食」のプログラムはなかなか難しいのではないのでしょうか。

尾見：まさに、そこが今一番の課題です。一緒にご飯を食べることだけでなく、一緒に作ることも難しくなりました。景丘の家をはじめ、こどもテーブル活動の皆さんと共に、必要としてくれる人々への「食」の取り組みを続けていきたいと思っています。一方で、企業の方々も今の社会状況を何とかサポートしたいと思っていて、こどもテーブル団体への寄付は増えているようです。今後は、必要としてくれる方々へきちんと届けられる仕組み作りを、行政と連携しながら考えていきたいと思っています。

「こども食堂」もオンラインでの実施をしていますね。

尾見：景丘の家で下ごしらえした食材を事前に受け取ってもらい、自宅からZoomを利用して参加する「オンラインこども食堂」です。

オンラインのワークショップに対する子どもたちの反響はいかがですか？

新堀：とても好評です。子どもたちにとっては、この月1回の「こども食堂」が、すごく楽しいイベントになっているようです。自宅にこもりがちな中で、「景丘の家・こども食堂」は食育の要素と、子どもたちとの貴重な交流の機会にもなっています。

緊急事態宣言下で子どもたちの居場所が地域から失われていっている中、景丘の家が心のよりどころになっているのですね。

増田：小さなお父さんがいらっしゃる親御さんからも、「こういう施設が近所にあって心強い」とおっしゃっていただいています。自由な活動が難しい状況ですが、こういう時だからこそ、景丘の家のような場所が改めて必要とされているのではないのでしょうか。

最後に、区民の皆さんにメッセージをお願いします。

尾見：オープンから間もなく2年がたちますが、良い場所に育ってきたと感じています。ここは、あらゆる世代が集まり寄り添える居場所なので、区民の皆さんにもっと存在を知っていただき、気軽にご利用いただきたいです。



▲1階「サロン」
誰でも利用可能な大きな土間が設けられ、いろりやかまどもある。



▲3階「おやこフロア」
乳幼児のためのスペース。広々とした空間の中、親子で遊ぶことができる。

「景丘の家」とは？

この地のかつての地名「景丘町」にちなんで、命名された「景丘の家」。故郡司ひさゑさんより「子どもたちのために」という遺志のもと、平成10年に社協に寄贈された邸宅を改築し、「こどもと食」をテーマに、あらゆる世代が交流できる施設として平成31年3月にオープン。さまざまな講座や「景丘の家・こども食堂」(現在はオンラインで開催)をはじめ、こどもテーブル団体による子ども食堂や居場所づくり・学習支援活動が行われている。

景丘の家紹介動画



景丘の家HP



「景丘の家」の皆さんへのインタビューは2月16・23日に「渋谷の星」で放送します。

広報コミュニケーション課広報係 ☎3463-1287 📠5458-4920

渋谷区の番組を放送中です

ラジオ しぶや区ニュース (10分間)
月~木 11:00/16:00/21:50
「しぶや区ニュース」の情報を発信します。

渋谷の星 (45分間)
火 11:15
渋谷区で活躍する人たちが登場します。

渋谷のくらし (30分間)
火 16:20
地域の催しなどの様子を伝えます。

ラジオ しぶや区ニュース (区長の部屋ほか) (10分間)
金 11:00/17:00/19:50
長谷部区長が出演します(ラジオしぶや区ニュースの内部になる場合あり)。

「しぶや区ニュース」 × 「渋谷のラジオ」 とは？

「しぶや区ニュース」では毎月、「渋谷のラジオ」と連動したページを掲載。「しぶや区ニュース」と「渋谷のラジオ」が連携して、人と人のつながりが広がる紙面を届けています。

周波数:
87.6MHz FM ☆公式アプリでも聴取可能
所在地 | 渋谷3-22-11 サンクスプライムビル1階 TEL | 6712-6876
FAX | 5778-9620 E-MAIL | info@shiburadi.com HP | shiburadi.com/